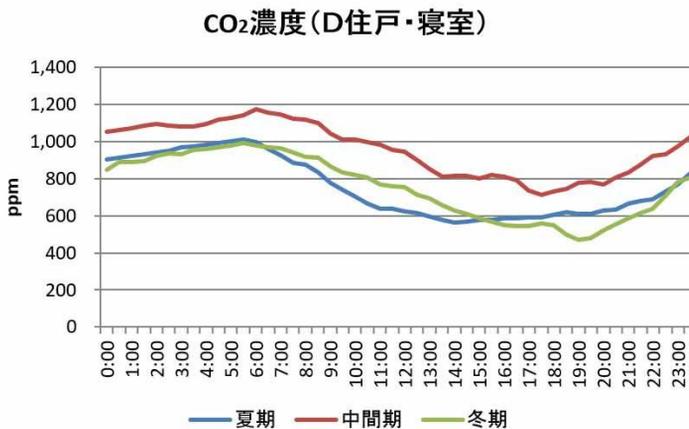


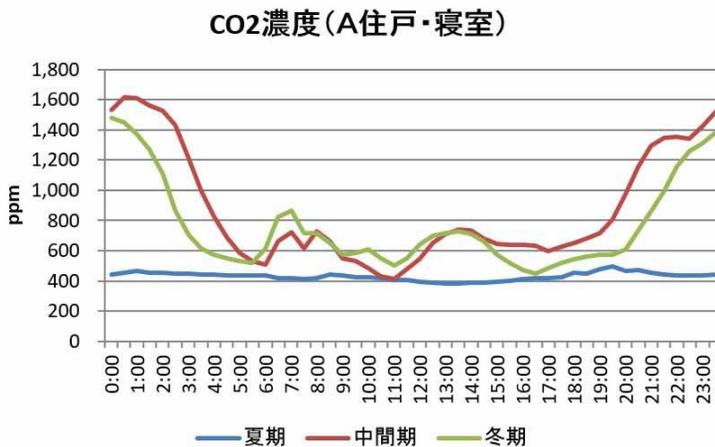
## 室内CO<sub>2</sub>濃度の状況

寝室のCO<sub>2</sub>濃度の変化を見ました。閉め切った寝室の明け方や、ガスファンヒーター(開放式暖房機)を使用している住戸では、1200~1600ppmに上昇していることがわかりました。

### 1. 寝室のCO<sub>2</sub>濃度の変化



上図は、ある住戸の寝室のCO<sub>2</sub>濃度変化を季節別、時間帯別に表したものです。夜から明け方に向かって、約1000~1200ppmにCO<sub>2</sub>濃度が上昇し、起床後は下がっていきます。起床に伴って、建具を開けるためと思われます。



一方、次に示す住戸は、夏季には1日を通じてCO<sub>2</sub>濃度に変化がありませんが、中間期や冬季には夜間~深夜にかけて、CO<sub>2</sub>濃度が上昇しています。

暖房機として開放式であるガスファンヒーターを使用していると思われます。

各季節の最低CO<sub>2</sub>濃度は、約400ppmで、気象庁の外気の計測データとほぼ同等です。

以上